



第2660地区



WEEKLY REPORT

大阪船場ロータリークラブ

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

創立 昭和63年(1988)5月23日

事務所 大阪市中央区西心斎橋1-7-3(〒542-0086) 北炭屋町ビル

Tel. (06) 6244-1008 Fax. (06) 6244-1010

Web: <http://sembarotary.club/> E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp

例会 毎週月曜日・12時30分

ホテル日航大阪 Tel. (06) 6244-1111

会長: 澤田 宗久 幹事: 岡本 茂 会報広報委員長: 日比 敬史

四つのテスト/言行はこれに照してから

I. 真実かどうか II. みんなに公平か

III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

第1237回 例会 2016年(平成28年)4月18日

(母子の健康月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 岩崎 寿英 副SAA)

○ ロ-タリ-ソング 「我等の生業」

○ 会長の時間 ◎ 幹事報告 ◎ 委員会報告 ◎ ニコニコ箱報告 ◎ 出席報告

○ フリートーク

○ 新旧合同クラブ協議会 31階「カトレア」13:40~15:40

前回(4月11日)例会記録

◇プログレス 岩崎 寿英 副SAA

1. 来客紹介 甚田 隆康 親睦委員

ゲスト: 1名 地区外: 1名 地区内: 0名 合計: 2名

ゲスト: 来日学生 ジャシュア シェクター 君

△~~~~~△
...・おかあさん...
...・贈る言葉...
...・おもいでアルバム...
△~~~~~△

2. 会長の時間 澤田 宗久 会長



まず最初に、今期になってから会員修正出席率が100%の日が多くなった事について、会員の皆様方に心から感謝申し上げます。引き続き宜しくお願い致します。

先週はジャシュア君が侯野会員のお世話で会社訪問を行いました。

侯野会員ありがとうございました。後程、彼に会社訪問の感想を話してもらいます。今日は、上月会員の会社に訪問致しますので上月会員宜しくお願い致します。

先週水曜日に船場RCと心齋橋RC合同のゴルフコンペをABCゴルフクラブに於いて行いました。松谷・中川会員お世話ありがとうございました。私はスタート前に挨拶に伺い、スタートを見送ってから帰り、手の骨折のリハビリに行きました。その後奈良・生駒RCに卓話に行きました。お題は「交換留学生のボランティア活動について」であります。船場RCがジャシュア君を受け入れてフィリピン・カオハガン島にボランティアとして参加し、クラブとしてどう取り組んでいるのかと言うことについて卓話を行いました。又、ホームステイでのお世話の仕方について話をしました。

その中で私の家で彼が2ヶ月に渡る生活で学んだことを手紙として私に書き残して次のホームステイ先に行きました。

その手紙の内容とは・「澤田家から学んだこと」 ジャシュア・シェクタ

『2月からホストファミリーが変わって澤田家に来た。今はホストファミリーがまた変わるけど、このホストファミリーで学んだことを忘れないと思う。短い二ヶ月間でも信じられないほど成長できて自分の生き方や考え方も大分変わった。僕は自身一生懸命頑張ったけど、全部は僕のせいではない。澤田家が後ろからずっと押して応援してくれた。本当に心より感謝している。

1月から「このままじゃいけない」と心できめ、ダイエットを始めて前の汚い生活を変えるように頑張りを始めた。

やっぱり、1ヶ月間で問題がなくなるのが無理なので、澤田家に来る時でもまだルーズな生活をしていた。

前のホストファミリーより、お父さんの方がはっきり思っていることを言うので、悪い所すぐわかるようになった。今考えたらちょっと面白いけど、特に歯磨きやメガネの戦いを覚えている。ダイエットもだんだん成功できて、お風呂に行くときキレイになってきた。自信が大分ついてきた。

頭の中で考えることも非常に変わった。「楽」ということを忘れて自分の夢を実現させるために生きたい。「失敗何回してもやるしかない」ということを信じる。

昔、心の中で、「日本語を学びたい」としか考えなかった。ずっと独学で勉強していて他の人と喋らなくて頭が痛くなるまで頑張った。今では日本語でこの文章を書いている。

日本語の発表大会で、優勝をいただいて日本人と関係を作ることができた。これからも、同じように、毎日一生懸命頑張って生きたい。決めたら、最後までやりとげないといけない。

大きなことだけど、澤田家のおかげで人生の道が変わった。僕は言葉に表現できないほどうれしい。』

この手紙を生駒RCの卓話で行った所、2650地区の米山・交換留学生を今まで数百名受け入れている中野会員がジャシュア君の手紙について、ロータリーとして随分勉強になったので、地区でも是非取り上げたいので原文を頂きたいと言われました。

この事は最初にホストファミリーを引き受けて頂いた会員の方々をはじめ、何事においても物事を誠心誠意受け止めて真心を持って対応して頂いた会員皆様のおかげと思い、心より感謝申し上げます。

先般、斉藤満会員による新入会員の勉強会にジャシュア君も参加致しました。ロータリアンではない彼は、「ロータリーの入門書」を見ながらロータリーについて皆様と一緒に勉強していました。

皆様にお願ひした会社訪問も一生懸命受け止めて17歳の青年がいろんな事にチャレンジして学ぼうとしています。

先日、心齋橋RC40周年記念式典に行き参りました。以前、心齋橋RCの女性の奨学生がフィリピンに戻り、会社を立ち上げて成功して、マカティーRCを作り、お世話になった心齋橋RCと友好クラブの調印式をその時に行いました。

今、ウルグアイ40代前大統領ホセ・ムヒカ氏が来日されています。

彼曰く『何かを残さない、お金ではなく愛情や生きる喜びを、まわりの人を幸せにしない』と言っていました。

一人の奨学生が努力して、自国でロータリーを築き上げたのです。

この様に人を育てることが大切であります。残り3ヶ月あまり、皆様でジャシュア君を育ててあげて下さいますようお願い致します。

3. 幹事報告 岡本 茂 幹事

1. ソウルでの国際大会には、5月28日(土)～5月30日(月)の予定で、当クラブからも12名が参加いたしますが、その登録料につきましては、早期登録割引を利用し、事務局から大阪ナイトの会費5,000円と合わせて、一人48,500円を3月の末日に地区へ支払いを済ませております。

つきましては、申し込みされた会員には、今週中に請求書をお送りいたしますので、よろしくお願いします。

2. 来週18日(月)は、ガバナー補佐、ガバナー補佐エレクト出席の下、新旧の合同クラブ協議会が開催されます。新旧の委員長ほかには、間違いなくご出席くださいますようお願いいたします。

4. 次年度幹事報告 中村 一 副幹事

4月11日配布の週報の最終ページに次年度理事報告として2016.7～2017.6の年間主要行事等の日程を掲載しております。特に、クラブ協議会(平成28年8月29日ガバナー補佐出席)への関係者出席と、ガバナー公式訪問の例会(平成28年9月12日)は全会員の出席を宜しくお願い致します。

5. 委員会報告

◎親睦委員会 宮原 彰 委員

今週4月16日(土)に開催いたします家族懇親会「都をどりの鑑賞と夕食会」の集合時間が当初予定の15時00分より30分早くなり、14時30分に変更いたしますのでご連絡申し上げます。

当日は、土曜休日のため来場者が多く、抹茶をいただく時間が込み合いますので、小職は14時20分に京都祇園甲部歌舞伎練場入口でお待ちしておりますので、ご協力の程お願いいたします。

◎30周年準備委員会 片岡 清夫 委員長

本日13:40から6階「橘の間」で30周年準備委員会を開催いたしますので、澤田会長、岡本幹事、平山会員、新川会員、中村会員、伊藤会員、林会員は出席のほどよろしくお願いします。

6. ニュニコ報告 松永 修 親睦委員

澤田 会員……4月9日(土)大阪国際会議場において、2016～2017年度の地区研修・協議会に次期委員長に出席いただき、有難うございました。次年度にかけて頑張ってください。

杉浦 会員……大磯様、ジャシュアと共に文楽鑑賞有難うございました。

斧原、松永、栗原、今泉、清水、新川、宮原、藤野、平山、岡本(茂)、片岡、塩尻、大嶋、高階、長沼、松谷、中村、俣野、伊藤、甚田、

各会員……新年度に入り、皆様の職場でフレッシュマンが加わり御発展を期待します

7. 出席報告 岩崎 寿英 副SAA

会員総数 39名 出席率計算会員数 38名 出席会員数 33名 出席率 87%

第1233回(3月14日) 修正出席率 97%

8. 職業奉仕卓話

◎「これからのワークスタイル」 長沼 斉寿 会員



英オックスフォード大学のマイケル A. オズボーン准教授およびカール・ベネディクト・フレイ博士との共同研究 The Future of Employment(2013)および野村総合研究所の調査によりますと、10～20年後に、日本の労働人口の約49%が就いている職業において、人工知能やロボット等で代替されうるとい調査結果が出ました。これらの仕事にすべて共通することは、定型的な仕事ということです。

2045年には人間の能力をコンピュータが超えるといわれていますが、もっと早くなるという見方もあります。

これはSFのような絵空事の話ではなく、現実になろうとしています。

一例を上げますと、この1、2年で、「IOT」という言葉が話題になっています。これはInternet of Things(モノのインターネット)という意味で、色々なモノがインターネットに繋がるということです。

これを容易にしたのは、1.センサーが小型化、廉価になったこと、2. 安価に大容量のデータを処理できるクラウドサーバーが普及したこと、3. それらがインターネットでつながったこと、があげられます。代表的な例では、車の業界がそうです。センサーは目、耳などの人間の感覚器の役割を果たします。そしてセンサーから得た情報はインターネットを介してコンピュータによって処理されて、処理結果が電気信号を通じてモーターに伝えられ、モノを動かす事ができるようになります。

私達の取組み例をご紹介しますと、最近スマート受付システムを開発しました。これは私達のような小さいベンチャー企業では受付業務のためだけに人を雇うことはできないので自社用途として受付業務の簡素化のために開発したのですが、大手企業からも導入したいという問合せが複数来しました。

その内容は、人材不足が背景にあり、受付体制を3名から1名にして、その代わりをシステムで対応したいという内容でした。一方で人間らしい問題も同時に起こってきています。それは「働く人の心の問題です。健康経営という言葉が最近よく耳にしますが、まさしく社員が心身ともに幸せな仕事をするのが企業経営の発展に不可欠な時代となっています。

これは、市場環境の変化に労働環境の変化が追いついていないことが原因と考えられます。厚労省が従業員へのストレスチェック制度を2015年12月から義務化しました。これは国内において、過労による自殺者が増えていることが引き金になっています。これからの企業に求められることは、働く人が幸せに働ける環境を整備することは言うまでもなく、人間本来の創造的な仕事ができる機会をいかに企業として提供できるかが重要になるのではないかと考えます。

◎「認知症について」 上月 環 会員



今、日本では、高齢化が進み、何人かに一人の割合で、認知症が発症し、相続の問題、交通事故、介護負担による離職、虐待、貧困など、社会問題になっています。

今回、卓話にて認知症の症状について、お話し致しましたが、現場で実際にご家族やご本人と関わっている立場で感じることは、社会資源との出会いがあるかないか？によって大変違うということです。

まずは、適切なアドバイスを得るために、ケアマネジャーを先ず見つけてください。

認知症に関する知識や、経験、介護資源についてのネットワークなど、ここによりかなり得て不得手があるのが現状です。

いきなり公的窓口ではなく、自身で公的資料から一つ一つ当たってみることが必要だと思います。

【2016-17 年度国際ロータリーのテーマ】

ジョン F. ジャーム国際ロータリー会長エレクトは、2016-17 年度のテーマとして「人類に奉仕するロータリー」を選びました。社会貢献への熱意をもつ職業人が集うロータリー独自の力を生かせば、大きな目標も達成できる、とするジャーム会長エレクト。「世界でもっと大きな『よいこと』をする推進力となるために、固い決意でポリオ撲滅を成し遂げ、ロータリーをさらに前進させながら、これまでの成功をバネに飛躍する 때가来たのです」と述べています。



☆次回4月25日例会予定

・職奉卓話: 甚田会員・林会員